

28 ▼トラック1

29 ○収録区切り①

30 ■場所：大学構内、階段の踊り場

31
32 ヒロイン、階段の踊り場にいる成一を発見。階段を上がり学生証を渡す。

33
34 DHM：⑨

35 成一「あれ？ キミ、二年生の……どうしたの？」

36
37 ヒロイン『高御堂先輩の学生証が廊下に落ちてましたよ』

38
39 DHM：①

40 成一「ああ、学生証ないと思ってたんだ。……廊下に落ちてたんだ」

41
42 成一「拾ってくれてありがとうね。」

43 としても大事なものが入ってるからさ……」

44
45 ヒロイン『大事なもの？』

46
47 成一「そう、大事なもの……。これがあるから、頑張ることができるんだ」

48
49 ヒロイン『そつなんですね……それじゃあ、これ……』

50
51 (SE：学生証を落とす)

52
53 成一「あ……いめん、手が滑っちゃった」

54
55 ヒロイン『す、すみませんー！ 拾いますね……ー！』

56
57 成一「あ、いめんね。二度も拾ってくれてありがとう」

58
59 ヒロイン『……って、これ私の写真……？』

60
61 成一「……見つかっちゃった」

62
63 ヒロイン『え？ 見つかっちゃったって……』

64
65 成一「これよく撮れてるでしょ？ お気に入りの写真なんだ。

66 キミが一生懸命勉強してるよ」

67
68 ヒロイン『でも、これ……私の家、ですよ？』

69
70 成一「そうだよ、キミの家で撮った。ああ、どうやって撮ったか気になるの？
71 ……うーん、それ言うところ……」

72 キミの部屋に設置したカメラの場所がバレちゃうからなあ……」

73
74 ヒロイン『べ、べっ！ じい！ ですか……』

75
76 成一「はあ、本当はゆっくり近づくと予定だったんだけど……。
77 バレちゃったし、しょうがない、か……」

78
79 ヒロイン『先輩……私……』

80
81 ヒロイン後ずさりするが、成一は詰めていく

82
83 成一「ぶっ、どっ行くの？」

84 せつかく二人つきりなんだから、気持ちいい」

85
86 ヒロインの手を引っ張る

87
88 ヒロイン『きゃっ！』

89
90 DHM:①寄り

91 成一「(軽くキス5秒)……」めんね、キスしちゃった。

92 キミがあまりにも可愛すぎて……ねえ、もっとうっ！

93

ヒロイン『だ、ダメ……』

成「(ディープキス10秒)ダメって言うわりには、嬉しそうだけど？
本当はもっとしてほしいんじゃないのかな(ディープキス5秒)」

成「ほら、うつとりした顔してる……(軽くキス5秒)
」のまま俺の家に行くか？」

ヒロイン『え、い、行きません……』

成「うーん、そっか。じゃあ、行きたくなるようにするしかないか」

薬を取り出し、口を含む

DHM:①寄

成「おいで」
(ディープキス10秒)

成「んっ……」これで……」

ヒロイン『んっ……！「クッ……(薬を飲み込む)」

成「ふふ、飲んじったね。

でも大丈夫だよ、安全な薬だから」

ヒロイン『なんで……こんなこと……』

成「なんでこんなことするかって言われても……好きだからしょうがないよね。

キミだって、好きな人がいたら同じことするでしょ。

……そろそろ薬が効いてくる頃かな」

ヒロイン『なんか、眠くなってる……』

ヒロインが意識が朦朧とし、倒れそうなところを支える成

128 成「おしよ、危なご。しつちが寝ちまつて可憐なあ……。」

129 ……じやあ、続々は俺の家じやろつね。そ、じつてはご愛つたあ「ね」

130

131 ▼トラック2

132 ○収録区切り②

133 ■場所：成一の家

134 薬を盛られたヒロインは眠ったまま、成一の家に連れ込まれる。

135 (SE:扉が開け、ヒロインをベッドに置く)

136 DHM:②

137 成一「……まだ起きない、か。薬が効きすぎちゃってるのかな。

138 はあ……こんな間近でキミを見られるなんて……嬉しすぎるなあ。
139 どうやって仲良くなろうか悩んでいたのが馬鹿らしくなったよ」

140 成一「スミズミで寝ているヒロインに覆いかぶさるように近づくと」

141 DHM:①寄り

142 成一「ねえ、起きないの？」のまま襲っちゃうけど……いいんだよね。
143 (軽くキス5秒)んっ……やばいな……。とまらなくなりそう……」

144 成一「可愛い……写真に残しておきたいな」

145 成一「ヒロインの寝顔を写真にうつる」

146 成一「……うん、いい写真撮れた。あとで印刷して飾っておかないと」

147 ヒロイン『んっ……』

148 DHM:①

149 成一「あ、起きた？ 気分はどう？」

150 薬が強すぎちゃったみたいで、キミが中々起きないから心配したよ」

163 ヒロイン『せ、先輩……「」は……』

164

165 成「ああ、「」は俺の家。キミが薬で倒れちゃったから。

166 そんな不安そうな顔してどうしたの？ キミの家だっと思ってくれればいい」

167

168 ヒロイン『わ、私……帰ります……』

169

170 成「……えっ。帰れると思ってるの？ 今から「」で愛しあうのに……帰らせないよ。」
171 (ディープキス10秒)

172

173 成「んっ……はあっ……ヨダしたくさん垂らして可愛い……。

174 よっぽど気持ちよかったんだね……俺もすっごく気持ちいいよ。

175 「」のまま、下のほうも触っていい……っ。」

176 (ディープキス10秒)

177

178 ヒロイン『はあ、はあ……だ、め……』

179

180 成「ダメじゃないでしょ。触ってほいって腰が揺れてるけど。

181 ……ほら、パンツの上から指が少し触れただけなのに、

182 ビクビクって反応してる。中はどっなくなってるのかなっ。

183 服を脱いで確認しようか…」

184

185 ヒロイン『んっ……んっ……』

186

187 成「ああ……綺麗な肌……。

188 カメラ越しでいつも見てたけど、実際に見るとやっぱり違うね。

189 ……興奮してきちゃっな」

190

191 ヒロイン『や、だあ……』

192

193 成「(台詞の合間にキスしながら)……っ……やだっって言いながら…

194 「」はぐちゅぐちゅだけど……。ほら、見て……糸引いてるのわかっ？」

195

196 ヒロイン『むっっ……言わないでっ……』

197 成「はあ……可愛すぎんね……。」

198 「これだけで恥ずかしがってたら、このあつちになっちゃうんだろね。」

199 (ディープキス10秒)

200

201 成「はあ、やだって言いながら、俺の舌にちゃんと絡みついてるよ、じゃか……
202 可愛すぎるんだけど、ごんだけ可愛くなれば気が済むの？」

203

204 成「もつと、ぐちゅぐちゅにして何も考えられなくしてあげる。

205 イきたいときは、ちゃんと声に出してね。

206 その可愛い声、録音しておきたいからな。

207 ほら、ぐちゅぐちゅのまんじっばい可愛がつてあげる」

208 (手マン吐息 10秒)

209

210 トロイン『はあっ……だ、ためっ……!』

211

212 成「ダメ？、ダメじゃないでしょ。だって、イきそうな顔してるのじ。」
213 (ディープキス10秒)

214

215 成「んっ……ほら……ぐちゅぐちゅ音だして、俺のじと求めるせじ……」
216 (ディープキス5秒)

217

218 成「はあ……かわいい……はあ……もつと、その可愛い顔みせて……」

219

220 ヒロイン、力なく抵抗

221

222 DHM:① → ⑦

223 成「「……ふーん。まだ抵抗できることは余裕があるんだね。

224 じゃあ、キミのじゅ、もつと攻めてあげないといけないよね」

225 (耳舐め10秒)

226

227 DHM:⑦

228 成「(耳舐めながら)……んう……はあ……耳の穴、弱いんだ……」

229 知らなかったなあ……。キミの身体のこととは把握してるはずなんだけどな……

230 まだまだ、知らないじとがたくゅん出しきそう……ん……」

231

232

233 成「(耳舐めしながら)はあ……好きだよ……」

234 誰かをこんなにも愛しいと思ったのは初めてだから……

235 少し緊張しちゃってるな。ねえ、俺の「じゅじゅ」思ってるっ。

236
237 トロイン『んあっ………！ わかんない………』

238
239 成「(耳舐めしながら)……ああ、そんな「じゅじゅ」きたくてしょうがないのかな……

240 じゃあ、たぶん「ん」かせてあげるね。……ほらっ、速度はやめてあげるっ……」

241 (激しく耳舐め 手マン 10秒)

242
243 トロイン『んあっ………！ ふあ………！ んんっ………！』

244
245 トロインが絶頂する

246
247 DHM:①

248 成「「……イっちゃったね。はあ………イった顔、すごいぞぞぞ……」。

249 あ、いけない。録画した忘れちゃったから、もう一回「っ」くれるっ。」

250
251 トロイン『はあ………はあ………そ、んな………』

252
253 成「大丈夫。怖いことなんてなにもないからね。

254 気持ちいいことだけ、いっぱいしてあげるから……ほら、俺に身をゆだねて……」

255
256 DHM:⑦

257 成「(耳舐めしながら)んっ………はあ………大好きだよ………愛してる……」。

258 キミは俺だけのものだからね………「のかわいい顔も、俺にしか見せちゃいけないよ……」

259 (耳舐め 手マン 10秒)

260
261 トロインが軽く絶頂する

262
263 成「(耳舐めしながら)んっ………はあ………軽く「っ」ちゃったね………はあ………はあ………」。

264 手マンと耳舐め、ぐっちもわれちゃっつとすべーっちゃっんだね……。」

265 成「それなら、何回でもやってあげないといけないね……(キス)。

266 んっ……それに俺のことも好きになってもうわないといけないからね……」

267 (耳舐め10秒)

268

269 成「(耳舐めしながら)はぁ……感じてる顔、可愛い……

270 可愛すぎるっ……食べたくなる……。」

271 (耳舐め5秒)

272

273 DHM:⑦→①

274 成「……冗談だよ。本当に食べるわけないでしょ。

275 食べたくなるっっ可愛すぎるっっ……」

276

307
308 ヒロインが絶頂する
309

310 成「あ、またイッた……」これで何回目？
311 そ、うまでイッてくれるなんて……嬉しいなあ……。もっといかせたくなる……」
312

313 ヒロイン『も……む……』
314

315 成「（耳舐めしながら）また、無理して……」
316

317 無理じゃないでしょ……。俺の手マンでっただけぢやないっしょおれながら。
317 ちゅ……。はあ……。素直じゃないっしょ。も可愛いからいっけね……」
318

319 （可愛いと伝えながら耳舐め 手マン 15秒）
320

321 DHM:①
322

322 成「あ、っ、ちっち向いて。キスしてあげろ……。
323 （軽くキス5秒）んっ……。やつぱりキス、求めてたんだっ」
324

324 ヒロイン『はあっ……。んっ……』
325

326 DHM:①寄り
327

327 成「「……はあ……。すき……。ねえ、俺の」の気持ち伝わってる……。っ
328 もっ、好きすきっておかしくなりそうなんだ……」
329

330 成「あ、今の顔いい。写真撮りたいなあ……。
331

331 ねえ、キミのイキ顔とガマンしてる顔、撮りたい」
332

333 ヒロイン『やっ、っやっ……』
334

335 DHM:①寄り→③
336

336 成「「っやっやっやっか……じや、っねならっ」
337 （耳舐め 10秒）
338

339 成「……はぁ……耳べちゃべちゃになっちゃったね。
340 でも、俺のだってマーケティングしてるみたいでたまんない」
341 (舌で耳たぶを舐める１０秒)
342
343 成「んっ……可愛い顔、気持ちよすぎてそんな顔してるの？
344 それとも、まだ抵抗するっ。」
345 (耳舐め１０秒)
346
347 成「はぁ……んっ……はやく俺のこと求めてよ……。
348 求めてくれなきゃ俺……なににするかわかんないよ」
349
350 ヒロイン『ひっ……』
351
352 成「……ぶっ、俺が怖いのっ。でも、そのわりには何回もイっちゃってるね。
353 ほら、クリトリスがビクビクして喜ぶってるよ」
354 (手マン １０秒)
355
356 ヒロイン『はぁっ……も、イっっ……っ！』
357
358 成「……ああ、イキそうなのっ。いいよ……。
359 いっぱいイって気持ちよくなつて、イッた顔、じっくり見せて。
360 はぁ……可愛い……どんだけ可愛いのか……」
361 (耳舐め 手マン １０秒)
362
363 ヒロインが絶頂する
364
365 DMM:①寄り
366 成「ふう……たくさんイけたね……。
367 そろそろ挿れたいけど……もう少しだけ慣らさないとな。
368 今までキミのこと観察してたけど、えっちなことは初めてするもんねっ。
369 だから……ぶちょぶちょになるまで慣らすっか」
370 (ティープキス 手マン １０秒)
371

372 トロイン『ふあっ……んっ……』

373

374 成「(手探しながら)その喘ぎ声……わざわざ。俺のじゃ煽ってるのさ。

375 俺が我慢してるのをいじっ……何度もいって、喘ぐじゃってわ。

376 見てくれ。俺のちんこバキバキだよ。

377 はやくキミの中に挿れたい、挿れたいっ……言ってる。

378 でも、俺はキミに気持ちよくなってるっ……から……

379 キミが俺しか考えられなくなるくらいエロエロに溶かしたっ。

380 ねえ、ほら、クリちゃんほも喜ぶてるね……。

381 もっど、もっど……キミが喜ぶっ……とあげる……」

382 (ティープキス10秒)

383

384 トロイン『はあっ……も、もっ……』

385

386 DHM:①寄り

387 成「うん、もっど頑張ろうね。」これで終わりだと思ってないよね。」

388

389 トロイン『わ、私……』

390

391 成「足が震えちゃってるけど……立てなくなっちゃった？

392 ……そっかあ。それくらい気持ちよかったってことだもんね。

393 ああ、かわいいなあ……もっどキミのこと乱したい……」

394

395 成「(ティープキス10秒)……っ……はあ……。

396 キミのじつも見えたとき、犯したくて……犯したくて……。

397 でも、それじゃあ犯罪でしょ。」

398 だから、睡眠薬ならいいかなっ……って思って飲ませちゃったけどね」

399

400 トロイン『へっ……せんせは……』

401

402 成「もっと寂しがってるね……。

403

俺の舌でたくちゃん可愛がって、トロトロにっ……あげる」

○収録区切り④

405

406 DHM:①

成二「キミの顔をじっくり見れないのは嫌だけど、喘ぎ声はたくさん聞かせてね。」

408 (クニしながら)んっ……音、ずい出てるね……。

クリトリスちゅぱちゅぱされて喜んでるの？

410
はあ、かわいい……喜んでる顔、もっとみたいなあ……」

411

成二「ねえ、気持ちいい」といってあげて……俺の彼女になってくれるよね？」

413

ヒロイン『なんで、ですか……？』

415

成「なんでって……話聞いてなかったの？」

417
キミのこと好きだって告白したはずなんだけどなあ……

うそだって思われてるのかな。……じっくり分からせてあげるね」

419

成二「(クンニしながら)可愛いまん」……可愛い可愛いビブを開くと……

クリトリスが顔を出すんだよね……（息を吹きかける）ふう……はは、驚いちゃった？」

422

成「クリちゃんぽ、勃起してて、今にもクリクリしてほしそうだね……。」

「はあ……かわいい……。じっくり舐めまわしてあげるから……。んっ……。はあ……」

425 (クニ=15秒)

426

成二「(クニしながら)はあ……愛液が流れて……俺のベッドがびしょびしょだ……」

428

ヒロイン『めんなさ……』

430

成「ん？謝らなくていいんだよ。キミの愛液で染みついたシーツは取っておいて、

432
…新しいシーツ買うから」

(クニニ10秒)

434

435 トロイン『んあっ…………… そっだめっ…………』

436

437 成一「んっ…………、はぁ…………気持ちいいね…………キミの愛液が甘くて…………俺の舌が蕩けそう。

438 ……ん…………はあっ…………可愛い…………もっと喘ぎ声聞かせて…………」

439 (クニニ10秒)

440

441 成一「ぶはっ…あれ、クニニだけじゃ足りなくなってきた？

442 そしたら…………乳首もいじってあげようか…………」

443

444 DHM:①寄っ

445 成一「(ティープキス10秒)」

446

447 成一「…………んっ…………キミの美味しい愛液分けてあげようと思ったんだけど…………

448 美味しかった…………？ね、こんどは俺の唾液たくさんあげるから…………

449 いっぱい飲んでほしいなあ…………」

450

451 トロイン『んっ…………んぐ…………』

452

453 成一「はぁ…………その顔、俺だけしか見てないよね？他の男に見せてないよね」

454

455 トロイン『こんなことするのっ…………先輩だけですっ…………』

456

457 成一「ああ、俺だけなんだ。よかったあ。

458 まあ、知ってたけどね…………いつもキミの…………見てるって言ったでしょ。

459 だから、彼氏いないのは分かったよ(軽くキス数回)」

460 (ティープキス10秒)

461

462 トロイン『…………んっ…………なら、どっっっ…………』

463

464 成一「キミからちゃんと言ってほしかったから。

465 他の男には見せてないですって…………俺だけですって…………。

466 はぁ…………可愛いなあ…………乳首も確認してあげようかな…………」

467 トロインの上半身の服を脱がす

468
469 DMM:②下に移動しながら

470 成「ピンク色でかわいい乳首だね……まだ誰にも触れさせたことない？」

471 俺が初めてなら嬉しいなあ……」

472
473 成「(手מןしながら)ちゃんとまんこも触ってあげるからね。乳首も舐められて……

474 まんこも触られて……敏感な身体になっちゃうね……」

475 (乳首舐め10秒)

476
477 成「(口)舐められるの好き？。それとも、噛まれるのが好きだったりする……？」

478 キミはどっちが好きなのかなあ……試してみてもいい？」

479 (乳首舐め15秒)

480
481 トロイン『……はあっ……んうっ……』

482
483 成「舌で転がされるの好きなんだね……

484 キミがなにをされると感じるのか、徐々にわかってきたよ。

485 手מןも好きみたいだし……本当、欲張りさんだね……。

486 ……ふふ、そんなキミも大好きだよ」

487 (乳首舐め10秒)

488
489 トロイン『……んああっー』

490
491 成「ん……どんどん敏感になつてくる……可愛い……

492 本当、可愛すぎて困る……意地悪したいとも思っし、可愛がりたいとも思っから……

493 ふふ、俺も欲張りだね？」

494
495 成「ほら、自分で言ってみて。どっこを触ってほしいか。

496 ちゃんと言えたら、優しく触ってあげるよ」

497
498 トロイン『もっっ……ほっっ……』

500 成「……んっ。どっになにがほしいの？ ほしいだけじゃわからないよ。

501 なんて……まあ、俺もそこまで鬼じゃないから……

502 キミがしてほじそうないじゅ、やっつあげるね」

503 (手マン 10秒)

504

505 トロイン『ひゃあっっっ。そっっだめっ……っ！』

506

507 成「(手マンしながら)どっしてダメなの？ クリトリスと膣内、刺激されるの怖い？

508 なんか出ちゃいそっっ。出ちゃいそっなら嬉しいなあ……

509 それって感じてるっしゅじゅっ

510

511 成「……やばいね……キミが潮吹くの想像しただけで、イキそうになるっ……。

512 俺のちんこ単純でしょ……キミのこじになると余裕ないんだ」

513 (乳首舐め 手マン 10秒)

514

515 成「……はあ、すぐに挿れて俺のものにしたい……。

516 何も考えられなくさせて、俺だけを求めるようにしたい……」

517

518 トロイン『はあっ……だめっ……だめっ……どちゃっっ……』

519

520 成「(手マンしながら)いいよ、イキなよっ……。

521 それで、たくさん潮ふいてっ。俺にぶっかけてよ」

522 (乳首舐め 手マン 10秒)

523

524 トロイン『んあっ……っ。 ああっ……っ！』

525

526 トロインが絶頂&潮吹く

527

528 DIM:①

529 成「「……っ……。お潮…俺のベッドにたくさん出したね……。

530 っ」のシーツ洗いたくないなあ……洗っちゃっつとキミの匂いが消えちゃっつからっ」……」

531

532 トロイン『はあ……はあ……』

533 成「……ぽーっしちゃって。

534 そりゃそうか、あれだけ盛大にイけば疲れちゃうのも無理ないよね。

535 ……だけどさ、俺はまだ満足してないんだ」

536

537 トロイン『……えっ……』

538

539 成「……そりゃ、キミがいったことには満足してるよ。潮も嘔いてくれたし……。
540 だけど、キミはまだ理性残ってるよね。

541 俺はね、キミが何も考えられなくなるようにするまづいつかはっぴだよね」

542

543 トロイン『……やっ、いわいつ……』

544

545 成「怖がらなくて大丈夫だよ、俺に任せて。キミのこと、おかしくさせてあげるから……。
546 前戯してっつちよっつちよにっしたあや…

547 キミの子宮にたくさん俺のちんこ突いてあげる……。

548 その頃には、きつと俺のちんこがほじってしょうがなくなってるよ(軽くキス)」

549

550 ○収録区切り⑤

551
552 DMM:①徐々に下に向かうように

553 成「あー潮ふいたから、まんこがびちゃびちゃだね。

554 ーのままにして、俺のちんこ突っ込んでもいいけど……

555 愛液と一緒にたくさん溢れちゃいそうだから、舐めてあげるね」

556
557 トロイン『んあっ……ー!』

558
559 成「(クンニしながら) はあ……んっ……すっ……。

560 潮の味と愛液が混じって……美味しい……。ねえ、そのまま顔くずめてっ……」

561
562 トロイン『はあっ……ー! 話しかけちゃだめっ……そっ……ああっ……ー!』

563
564 成「あれ? 俺の声、届いてないのかなあ……。

565 まあ、顔くずめるのはっ……でもでわるよね。

566 今はキミを気持ちよくさせることに集中しようかな。

567 ……いっ、気持ちいいのに夢中になっちゃって、可愛いね……

568 ー」要望に応えて、たくさん舐めてあげるからね……」

569 (クンニ10秒)

570
571 成「はあ……はやく俺のものにしたいなあ……。

572 前戯で終わらせるのもいいけど……キミのまんこを俺の形にしたいから……。
573 だから。挿入まではさせてほしいな……」

574
575 トロイン『んあっ……はあっ……イかせてっ……』

576
577 成「いっ、イかせてほしいんだ? キミからのおねだりが早くて驚いちゃった。

578 もちろんいいよ。イかせてあげる……その代わり、キミがイったら俺のちんこ……

579 キミの小さいまんこに挿れるから、いい?」

580
581 トロイン『……っ……それ、は……』

582
583 成「(クンニしながら)答えないってことは……まだ、俺に挿れられる覚悟ができてないの？
584 こんなにぐちょぐちょなんだから、すんなり入ると思うけど……」

585 まあ、キミが挿れてほしいって思うまで、クンニ頑張ろうかな……」

586 (クンニ10秒)

587
588 トロイン『なっ……っ！ それっていつまで……』
589

590 成「いつまでっ……うん、キミが挿れてほしいって言うまでだから、キミ次第かな。
591 俺は一晚中舐めれるよっ。キミが何度イってもやめてあげない」
592

593 トロイン『……っ！ それ、は……』
594

595 成「(クンニしながら)……ふふ、おしゃべりは後。今は、こっちに集中してね。
596 俺の舌、気持ちいいでしょ……。たぐさるトロトロしてあげるからね」
597

598 トロイン『ん……っ！ イ、ちゃ……っ……あっ……っ！……』
599

600 成「イっちゃう？ 俺にトロトロされて気持ちくってイっちゃうの？
601 はあ……可愛すぎ……もっと可愛い顔、みせて……」

602 それで、イくときは……ちゃんとイくって言うてね。俺の顔見ながら言うんだよ」
603 (クンニ10秒)
604

605 トロイン『ああっ……んあっ……』
606

607 成「は、いやらしい音……俺の舌、出し入れするとじゅぽじゅぽ音が出て……
608 本当いやらしい。キミのこんなにいやらしい姿……学生証にいれておきたいなあ……」
609

610 成「……だって、入れておけば、常にキミと一緒にいれるでしょ。

611 ほんとっはキミとずっと一緒にいたいんだけどね、学校ではそうはいかないから」

612
613 トロイン『せんぱいっ……おかっしょっ……』
614

成「(クニニしながら)……うん、俺はおかしいよ。
キミに出会ってからおかしくなっちゃった。だから責任とってほしいんだよね」

ヒロイン『んあっ……私っ……責任とれないですっ……』

成「(クニニしながら) 責任とらなくてもいいよ。ずっと俺のそばにいてくれれば……。俺はそれだけで満足だよ」

ヒロイン『……はあっ……んっ、あ、あっ……』

成「(クニニしながら)んっ……ずっと舐めてられる……。

これだとキミのまんこがふやけちゃうねっ」

成「まあ……だからといってやめるつもりはないんだけど……。

キミの可愛い可愛い……まんこをずっと舐めれるなんて……

嬉しすぎて倒れちゃいそうだよ。ほら、もうイキそうなんだじゃ？ イっていいよ」
(クニニ10秒)

成「(クニニしながら)はあっ……俺もまんこが限界なんだ……んっ……

だから、キミがイったあとに……挿れるから……っ……！……っ……イって……！」

ヒロインが絶頂する

DHＭ:①寄り

成「……ふう……たぐさんイけてよかったね……。

見て、キミの愛液と潮が俺の口にべっとなじりついている……」

成「(軽くキス)ううしてキミとえっちなことできて……肌が触れ合って……

幸せだなあ……。昨日までは考えられないことだったよ」

成「(キス数回)……大丈夫？ 意識あるよね……。

まだしたいこと、たぐさんあるから気絶したら困るんだ。」

648 成「ねえ、大好きだよ……俺のこと好きになってくれた？」
649 (キス数回↓ディープキス10秒)

650
651 成「キスしながらはあ……大好き……すき……愛してる……。
652 俺のことだけ見て。俺のことだけ考えて……」
653

654 成「……はあっ……キミが可愛い顔するから……俺、こんなに欲情しちゃってるよ……。
655 責任取ってくれないと……
656 (ディープキス10秒)

657
658 成「もう、いいよね……俺のちんこ、キミの中に挿れても……」
659 (ディープキス5秒)
660

661 トロイン『……っ……』

662

663 ▼トラック3

664 ○収録区切り⑥

665

666 成一せわしく服を脱ぐ

667

668 DHM:①

669 成一「見てよ、このガマン汁……キミに挿れたくて、こんなに溢れちゃった。

670 今から、キミの中にこの勃起ちんこ挿れて、子宮の奥、たくさん突いてあげる。

671 それで、キミの中に射精して……俺の精子、子宮内に塗りこんであげるね。

672 ……こんなダラダラ垂れ流しで本当かわいい……。

673 はぁ……挿れるね……っ……んっ……はっ……っ……。」

674

675 挿入、正常位でセックスするふたり

676

677 トロイン『はぁうっー』

678

679 成一「はぁ、きもちい……

680 あ、ゴム付けるの忘れちゃった。まあいつか。卒業したら結婚するじ。

681 キミの膣内とってもあったかい……。離れたくなくなっちゃうよ。

682 俺のちんこが持つかれちゃいそうなくらい、ナカがキツイッ……。

683 はぁ……かわいい……ガン突きしてあげるから。覚悟してね？」

684

685 トロイン『まっ……ー』

686

687 成一「……待たない。……このまま……たくさん突いて孕ませてあげるからっ……。

688 俺と子ども嬉しいもんね？」

689 (ピストン 10秒)

690

691 トロイン『ちがつ……あっ……ー』

692

693 成「はあ……かわいい……かわいい……もつとエロい顔みせて……。

694 顔、隠さないでよ……はあっ……んっ……俺の恋人、すごい可愛い……。

695 すべにでも射精しちやいそつだよ……。

696 ねえ、どれだけ自分が可愛いかわかってるの？

697 毎日キミのこと考えてオナニーしてたの知ってる……？」

698 (ピストン 10秒)

699

700 成「(ピストンしながら)……っ……もつと腰あげて。いっぱい突きたいからっ……

701 パンパン突いて、気持ちよさに溺れてよ……。

702 っ……ぎゅうぎゅう締め付けて……っ……が俺のちんこに絡みついてくるっ……」

703

704 成「(ピストンしながら)んっ……可愛い……俺、余裕なくなってきたっ……

705 キミに射精したってっ……したって……たまんないっ……」

706 (ピストン激しっくっく 10秒)

707

708 DHM:③

709 成「(囁くように)はあっ……囁くと膣がビクビク動いて……

710 俺の精子ほしがつてるみたい……やっぱり俺の精子、欲しかったんだ……」

711 (ピストン 10秒)

712

713 DHM:①寄っ

714 成「(軽くキス)(ピストンしながら)はあ……

715 キスしながら、突いたらどんな反応するっ……

716 激しっくっくかな？ それとも、もつとっ……おねだりしてくれるのかな？

717 ……まあ、今から試せばわかるっ……」

718

719 トロイン『激しっくっく、だめっ……っ……』

720

721 成「……激しっくしたらっ、いっぱいイくらしちゃうダメなのっ……

722 それとも、それは俺を煽ってるのかな？」

723 成「もっぴ、たくさんしてあげたくなっちゃうなあ……」

724 (激しいピストン 10秒)

725 726 成「んっ……はあ……ナカがうねって……」

727 イキそうなの、ちゃんこ越しから伝わってくるっ……っ……んっ……」

728 (キスしながらピストン 10秒)

729 730 ヒロインが絶頂する

731 732 成「くっ……！急にイかれたらっ……射精しちゃいそうだったよ……。」
733 (ディープキス10秒)

734 735 成「キスしながら、イクの気持ちよかった？

736 正直に言ってくれたら、いっぱいキスしながら突いてあげる……」
737 (ディープキスピストン 15秒)

738 739 ヒロイン『……っ……ちがっ……』

740 741 成「ん、なにが違うの……？キスしながら突いたとき……激しくイってたよね……」
742 それで違っって言われても、説得力ないんだけど……んっ……」
743 (ピストン 10秒)

744 745 ヒロイン『まっ、動かさないでっ……！』

746 747 成「(ピストンしながら)はあ、はあ……キミがいった後に動かすと……」
748 ナカっ……っねりすぎっ……俺が出ちゃっそうっ……」

749 750 DMM:①

751 成「ねえ……一回、イっていい？キミの中にたくさん射精してっっっ……」
752 ……あれ、キミもまたイキそう……？そしたら、俺と一緒にイっちゃおうか……」
753 (激つっっピストン 10秒)

754

成「(ピストンしながら)はぁ……キミの中に…

755
756 俺の精子たくさん注ぎこめるって考えただけで興奮するっ……

757 俺のモノだって、種付けさせるっじがでるっ……。

758 はぁ……はぁっ……子宮口に俺の精子っ……たくさんっ……飲み込んでっ……！」
759 (激っぴピストン 10秒)
760

761 成「はぁ……んっ……っ…… イっていいよっ……いいよっ……！」
762 (激っぴピストン 10秒)
763

764 成「あっ、あっ……ー だめだっ……イク……ッ……！」
765

766 トロインと成一が絶頂する
767

768 DHM:①寄っ

769 成「はぁ……はぁ……っ……。ん……たくさん出しちゃった……

770 キミの子宮内、俺の精子でたくさんになっちゃったね……」
771

772 トロイン『はぁ……んっ……んっ……』
773

774 成「まだ、まだ……し足りない……キミのこともっといかせたい……。

775 俺のだって……分からせたいっ……はぁ……ぁ……」のまま、もう一回ぐゅゅっ。
776 (ピストン 10秒)
777

778 トロイン『……やぁっ……も、気持ちよすぞっっ……ふっっ……』
779

780 成「(ピストンしながら)気持ちよすぞっ……なにっ…… イっちゃっっっっっっっっっっ。

781 一回イってから、何度もイっちゃってるね……

782 かわいい……もっっ、俺に見せっ……。」
783

784 トロイン『はぁっ……んぁっ……っ……』

815 成「(ピストンしながら)……これから、大学行くときは俺と一緒にに行こうね……」
816 ……それから、周りに認知してもらえるように……イチャイチャしようね」
817
818 トロイン『……あぁっ………!』
819
820 成「俺の声、もう聞かえてないみたいだね……聞かえてなくてもいいよ……
821 またあぶで言っただけあげるからっ……今は、俺で感じてよ」
822 (激しいピストン 10秒)
823
824 成「(ピストンしながら)はぁ……キミの膣内、たくさん突けて嬉しいっ……
825 俺と一緒にしようっ……。たくさんっ……。キミのナカに、注いであ……
826 孕ませるからっ……。あー、イク……」
827 (絶頂に向けてピストン 10秒)
828
829 成「あ……っ……イク……イク……はぁっ……。……くっ………」
830
831 トロインと成一が絶頂する
832
833 成「はぁ……はぁ……」
834 (息を整える10秒)
835
836 成「やっきたぐわん出したばっからなのじ、まだ出る……。
837 ーのちも子宮口に塗り付けてあげる……。ぐっぐっ……」
838
839 トロイン『はぁっん………んぁっ………!』
840
841 成「みっ……まだこんなに勃起してるよ。
842 キミの淫らな姿が……俺のちんちをこんなにわはしる……。
843 ねぇ、責任取ってまだ付き合っつてくれるよね」
844
845 トロイン『や……も……。ほんとにグイけなっ……」

846 DHM:①寄り

847 成「ん？ イけなくていいよ。……キミは喘いでるだけで満足だから……。

848 ね、だから、まだいっぱい続けようね……」

849 (ディープキス ゆったりピストン 10秒)

850

851 成「(ゆったりピストンしながら)ほら、キミのまんこからまだ溢れてくる……

852 俺の精子がまだ欲しいって言ってるみたい……(軽くキス数回)」

853

854 ヒロイン『っ……あんっ……』

855

856 成「……次は、向かい合って、座って、愛し合おうか……。

857 俺は正常位も好きだけど、キミは子宮にズンズンされるのが好きだからね。……

858 キミが好きなほうをやってあげるから……」

859

860 ヒロイン『はっ、はっ……』

861

862 成「もう少しだけ、頑張ろうね……っ。」

863

864 ちんこを抜き、体制を変える

865

866 ○収録区切り⑦

867
868 DMM:①寄り

869 成「可愛い……本当は外堀を埋めるところからやろうと思ってたけど…
870 キミから話しかけてくれるとは思わなかったなあ……」

871
872 ヒロイン『ちがつ、んっ……学生証返そうと思って……』

873
874 成「うん、学生証返そうと思って声かけてくれたんでしょ。
875 それでも、キミから声かけてくれたのは事実だから」

876
877 ベッドの軋む音、対面座位になるふたり

878
879 DMM:①

880 ヒロイン『え……』

881
882 成「……まだ意識あるよね。キミのまんこのナカ…俺のチン」の形になって……
883 エロいね。嬉しいなあ……俺の形を覚えてたってことでしょ。
884 もっと、俺の形になって、俺のだって分からせたい……はあっ……んっ」

885
886 挿入

887
888 ヒロイン『はあああああっー！』

889
890 成「俺のちんこガチガチでしょ？ 驚いちゃった……？
891 ごめんね、キミのナカが濡れすぎて俺のこと欲しがってると思ったから、
892 一気に挿れちゃった……」

893
894 ヒロイン『はあっ……ああ……』

897 成一「はあ……かわいい……かわいい……。俺のことだけ、考えて……。
898 まだイけるでしょ……。たくさんイってよ……

899 それで、俺にキミの愛液たくさんかけてよ……動くからねっ……」
900

901 成一「(ピストンしながら)っ……はっ……めっちゃ気持ちいい……
902 俺が動くたびにキミのまんこが喜んで……締め付けてくる……

903 どんだけ俺のちんこ欲しがってるのっ………」
904

(激しいピストン 10秒)
905

906 トロイン『せんばあい……あっーあぁっー』
907

908 成一「(ピストンしながら)……はあ、その可愛い声で俺の名前呼んでっ……
909 『成一』って呼んでよう……。ほらっ……俺、待ってるよっ………」

910 (激しいピストン 10秒)
911

912 トロイン『成一先輩っ………』
913

914 成一「(ピストンしながら)……っ………キミから名前呼ばれるっ……
915 嬉しくて射精しちゃいそうっ……ねえっ、俺のこと好きって言うっ……」

916
917 トロイン『んあっ………すきですっ………すきっ………』
918

919 成一「はあっ……俺のこと、そんなに好きなんだっ……。
920 熱烈な告白されてるみたいでっ……嬉しいよっ……

921 このまま結婚しちゃおうかっ……。
922

922 キミとなら、楽しい家庭が築けると思うからねっ……」
923

(激しいピストン 10秒)
924

925 DMM:①寄り
926

926 成一「はあっ……(軽くキス数回)ほら、誓いのキスっ……俺と一生の愛を誓うんだよう……
927 んっ、はあ……結婚式、はやく挙げたいねっ……んっ……はあっ……」

928 (激しいピストンに合わせてあえぎ声10秒)

929 成「はあ……子宮降りてきてるの分かる……？」

930 俺の精子、欲しい欲しいって……吸い付いてきてるの……」

931 (激しいピストン 10秒)

932

933 成「(ピストンしながら)俺もっ、キミのナカに精子出したがつてる……はあ……っ……
934 俺の精子とキミの愛液でばちゅばちゅっついやらしい音鳴ってるね……」
935

936 成「いっぱい音鳴らしちゃって……俺のこと求めてるの丸わかりだよ。
937 突いて突いて突きまくってあげる……。

938 気持ちよすぎておかしくなっちゃてるのがわかる……」

939 (激しいピストン 10秒)

940

941 成「んっ……はあ……可愛い……俺の彼女……。……違うか……俺の妻だよ……
942 はあ、もう可愛すぎて俺がどっにかしちやいそつだよ……」

943 (激しいピストン 10秒)

944

945 成「(ピストンしながら)はあ……俺にガン突きされて……興奮してるの？
946 もう声枯れてきちゃってるね……明日はゆっくり休もうね……」
947

948 トロイン『はあっ……んっ……っ……』

949

950 成「俺のことだけしか考えてない、この瞬間が好き……。

951 俺のことしか目に入らないでしょ……はあっ……可愛い……好き……」
952

953 成「(ピストンしながら)……このままキスしながらイきたい？
954 イきたいでしょ……(軽くキス5秒)

955 ああ……この軽いキスじゃ嫌だった？ ……そしたら、濃厚なキスしてあげようか……。
956 ん……っ……かわいい……」
957 (デープキス10秒)

958

959

960 成「(キスながら)初めて身体を重ねるのに……初めてじゃないみたいだ……。
961 ……っ……んっ……気持ちよすぎる……」のまま離したくないっ……」
962 (激しいピストン 10秒)
963
964 成「はあ……はあ……すぎ……だいすぎ……愛してる……。
965 」のままひとつになって俺の……愛してっ……」
966 (激しいピストン 10秒)
967
968 成「もう限界だっって言ってもやめてあげない。
969 ……俺が満足するまで……絶対にやめてあげないからっ……」
970
971 成「(ピストンしながら)こんなに、俺のちゃんに絡みついて……
972 離れたくないっ……可愛すぎるっ……」
973
974 成「……んっ……はあ……もつと、奥まで突いてあげたいっ……
975 ……こんなじゃ足りないっ……もつと、もつとだっ……」
976 (激しいピストン 10秒)
977
978 成「(ピストンしながら)……大好き……大好き……、ココ突かれるの弱いんだ……。
979 またひとつキミのこと知れた……だけど、もつと色々知りたいっ……」
980
981 成「(ピストンしながら)いきそうっ……っ……そしたら、イクっ……っ……
982 ……ぱいっ……っ……イクっ……。俺のこと考えながらイクっ……っ……」
983
984 DHM:①
985 成「はあっ……そのヒロイ顔、俺に見せながらイクっ……。
986 ……っ……キミの……っ……たぐさっ……イカせるっ……
987 ……一緒に、イクっ……」
988 (絶頂に向けて喘ぎ声10秒)
989
990 成「……イク……はっ……イクっ……っ……イクッ……」
991

992	ヒロインと成一が絶頂する
993	成一「呼吸を整える 8 秒」
994	

995 ○収録区切り⑧

996
997 成「いっ……はっ……」のまま抜くのもったいないなあ……。まだイけるよね……。？」

998
999 成「いっ……まだ楽しみたいっ……ようやく繋がれたんだからっ……」

1000 (ゆっくりピストン 10秒)

1001
1002 ヒロイン『ふあっ……ああっ……いっ……』

1003
1004 成「(ゆっくりピストンしながら)……もう、俺の声届いてないみたい……

1005 無理させすぎちゃったかな……。？ゆっくり動いてあげるから、休憩してね……」

1006
1007 ヒロイン『休憩になっ……』

1008
1009 成「(ピストンしながら)……っ……はあ……休憩になっ……でしよ……っ……？

1010 本当に、キミの子宮に俺のちんこ押し付けたいのを我慢してるんだからっ……

1011 本当はガン突きしたいんだからさっ……」

1012 (ピストン 10秒)

1013
1014 ヒロイン『あうっ……いっ……そっっ、グリグリだめえっ……』

1015
1016 成「(ピストンしながら)そっか……。」「」が好きなんだ……

1017 そしたら、もっとグリグリしてあげろっ……。ああっ……俺がやばいっ……

1018 キミのまんこに吸い付かれてっ……感じちゃうよっ……」

1019
1020 成「(ピストンしながら)ピダが吸い付いてっ……俺のちんこ大好きって言ってるっ……
1021 ……っ……はあっ……ちよつと激しくしたいっ……」

1022 (ピストン 10秒)

1023
1024
1025
1026 成「(ピストンしながら)っ……はっ……ピストン早めろっ……

1059 成一「(ピストンしながら)はあっ……大好きっ……。
1060 またイクよっ……子宮のナカっ……俺の精子で苦しいだろうけど……
1061 また出すからっ……」
1062 (絶頂に向けて喘ぎ声10秒)
1063
1064 成一「イク……はっ……くっ……うっ……イクッイクッ……!」
1065
1066 ヒロインと成一、最後の絶頂をする
1067
1068 DHM:①寄り
1069 成一「はぁ……はぁ……(息を整える10秒)
1070 ね、これからずっと一緒にいようね(軽くキス)」
1071
1072 ヒロイン「はぁ、はぁ……んっ……うん……」
1073
1074 成一「……はは、よかった。実はね、指輪用意してあるんだ。
1075 あとで渡してあげるから、今は寝ようか……(キス数回)」
1076
1077 ヒロイン「あっ……」
1078
1079 成一「……好きだよ……大好き……
1080 指輪のサイズもキミの友達から聞いておいてよかった……。
1081 キミに声かけるのは少し緊張してたからね……」
1082
1083 ヒロイン「は……ぁ……」
1084
1085 成一「……もう話せなくなっちゃってるね……俺の声、ちゃんと聞こえてる……?」
1086
1087 ヒロイン「……っ……キミ覚えて、ます……」
1088
1089
1090 成一「……よかった。まだ意識あったね。」

1091 「さすがに、えっちすぎちゃったね……」

1092

1093 ちんこを抜く

1094

1095 ヒロイン『あぁっー』

1096

1097 DHM:①

1098 成「あれ？ ちんこ抜いただけでイっちゃった？

1099

 それとも……まだするっ。」

1100

1101 ヒロイン『やっ、むりです……』

1102

1103 成「はは、冗談。これ以上は、やらないよ。

1104

 それに、キミのまんこも限界だっついてるから……。

1105

 ほら、見て。キミのまんこから俺の精子たくさん溢れ出てる……。

1106

 もったいないなあ……」のまま妊娠してくればいいのに……。」

1107

1108 ヒロイン『っ……っ……』

1109

1110 成「まあ、今はゆっくり寝て……おやすみ……。」

1111

1112 ▼トラック4

1113 ○収録区切り⑨

1114 ■場所：成一家

1115 ヒロインが気絶してから一晩経っている。朝日と共にヒロインが目を覚ます。

1116 ヒロイン『……ん……』

1117 DHM：①

1118 成一「おはよう、ぐっすり寝てたね。

1119 昨日は、無理をせすぎちゃったかな……」「めんね」

1120 ヒロイン『あつ……先輩……』

1121 成一「先輩なんてやめてよ。もう夫婦になるんだからさ。『成一』って呼んでほしいな。
1122 ほら、これ……キミのための指輪……」

1123 ヒロインの左手薬指に指輪をはめる

1124 成一「……うん、ぴったりだね。俺もつけてあるんだ。ほら。

1125 「これを周りのやつらに見せつけようよ」

1126 成一「そうだ、俺の家に引っ越しておいで。結構広い家だから、キミと二人なら平気だよ。

1127 ああ、でも……子どもできたときのために、候補の家は何か所か決めてあるから……

1128 安心してね。」

1129 ヒロイン『え、え……ちょっと待ってくださいー!』

1130 成一「ん?、俺は十分待ったよ?」

1131 「これ以上なにを待ってっていうの。今日にだって、婚姻届け出しに行きたいけど……」

1143 成「昨日無理やせすぎたから、我慢してるの……」

1144

1145 トロイン『それは……えっ……』

1146

1147 成「それに、俺の……好きだって言っただけね。

1148 大好きって、俺から離れないって……」

1149

1150 トロイン『……言いましたっけ……』

1151

1152 成「ふふ、覚えてないのも無理ないか。

1153 キミ、途中で意識……でもたもんね……覚えてなくても……」

1154

1155 トロイン『……でも、結婚はまだはやいかと……』

1156

1157 成「だめ。絶対に結婚する。

1158 俺のだって、周りに分からせない……キミの……他の奴らに取られちゃっ……」

1159

1160 トロイン『……っ……誰も取る人なんていませんよ……』

1161

1162 成「俺みたいなのがあるかもしれないでしょ。

1163 (小声で)……いろんな人から狙われてるの気づいてなかった……」

1164

1165 トロイン『……えっ……』

1166

1167 成「……なんでもない。それより……キスしろ。

1168 んっ……(キス数回) はあ……はあ……んっ(ディープキス10秒)」

1169

1170 トロイン『……はあ……あっ……』

1171

1172 成「……可愛い……まだしたい……っ？俺、いつでもしてあげるよ……」

1173

1174 トロイン『……っ！腰が痛いのでやめますっ……』

1175
1176 成一「ああ、腰痛いのか……そっか……。」

1177 えっちしたかったな……キミのナカにたくさん精子いれたいのになあ……」

1178
1179 ヒロイン『っ！も、もう昨日みたいなのはダメです！』

1180
1181 成一「……え？なんでダメなの？」

1182 おれのエッチ気に食わなかった？あれだけ気持ちよそっにしてたのに？
1183 ……おかしいなあ……」

1184
1185 成一「あ、そっか。体位が気に食わなかったのかな。

1186 もっといろんな体位してあげないといけなかったね。今から試そっか」

1187
1188 ヒロインをベッドに押し倒す

1189
1190 ヒロイン『えっ、先輩！まつ……』

1191
1192 成一「……先輩じゃないでしょ。まつきなんて呼べって言った？もう忘れちゃった？」

1193
1194 ヒロイン『……成一さん……』

1195
1196 成一「うん、そう。いい子だね……。」

1197 ちゃんと俺の名前を呼んでくれたキミには、俺がいいことをしてあげる……」
1198 (ティープキス15秒)

1199
1200 ヒロイン『んっんっ……あっ……』

1201
1202 成一「かわいい……なにをしたらそんなかわいくなれるの……。」

1203 キミと早く出会ってればよかった……。」

1204 そしたら、小さい頃からキミのこと囲っていたのに……」

1205
1206 ヒロイン『……成一さん……ちよつと怖いです……』

1207
1208 成一「そっつ、俺って怖いのかな？キミのことになるといつもこっつなっちゃっよ。

1209 友人には、重くなって言われたりするけど……でも、これが普通だと思っんだ。」

成「だって生涯を共にする人なんだから、重いのが普通だと思っけど……」

成「キミだってそっだね……？　ねえ、これからずっと一緒だからね……。」

あとでキミの親御さんにも挨拶に行こう……キミの家の住所は分かるから。

ふふ、キミのことならなんでも知ってるよ……なんでも、ね……。

だから、隠し事はしないでね……」

(軽いキス10秒　フェードアウト)

1210
1211
1212
1213
1214
1215
1216
1217
1218

END